

歴史遺産語り

教育委員会生涯学習課 **TEL**
25-1268



豊田祥三
鳥羽市文化財専門員

くわしくは
こちら



三島由紀夫が愛した 「潮騒」の舞台 神島

日本を代表する作家・三島

由紀夫。年が変わってしまいましたが、昨年は彼が生誕して100周年ということです、全国で記念展示や書籍の出版、イベントなどが行われました。彼の代表作のひとつである小説「潮騒」は、神島をモデルにした舞台で描かれており、三島が執筆のための取材で島を訪れたことはよく知られていますが、当時を知る人も少なくなっていることから、教育委員会では、2020年に『三島由紀夫と神島』という冊子を刊行しています。

冊子では、当時三島が神島灯台の人々と交わしていた手紙の内容や当時の秘蔵写真のほか、彼が後に神島に触れたコラムなどを集めて収録しています。

三島は3度神島を訪れ、昭和29年8月に訪れたのが最後でした。しかし、彼の手紙やコラムなどからは、「神島は忘れない島である」「ここに

います。手紙の内容から三島と神島の人々との交流が小説の登場人物などにも反映されていることも判明しました。

作成にあたっては、三島由紀夫文学館など関係者のみなさんに多大なご協力をいただきました。しかし、三島は日本を代表する作家であり、権利関係が非常に厳しく、一時は掲載許可が下りずに刊行が危ぶまれた時期もありました

が、刊行する意義を必死に説明をして何とか最低限の資料掲載のお許しを得て刊行にこぎつけることができました。ですので、苦労した分、思い入れの強い冊子ですし、内容も充実したものであると自負しています。

冊子から、当時の三島の生き生きとした創作活動と神島へ島を訪れてみてはいかがでしょうか。



「三島由紀夫と神島」の冊子



鳥羽市の文化財

鳥羽市地域のつながりづくり推進事業 鳥羽市シェアタウン クラシェアとば

地域のつながりづくりを応援します とば子育てシェアひろば 開催中

企画財政課企画経営室 **TEL** 25-1101 AsMama **✉** info@asmama.co.jp

「とば子育てシェアひろば」とは、市内の子育て世帯へ向けた子どもの一時預かりと親子交流の場です。
交流を通して、地域のさまざまな人同士で助け合いませんか？

ごはんも遊びも手づくり！おにぎり×新聞ドームを作ろう！

○と き：2月23日(月・祝) 午前10時～午後2時

○ところ：安楽島公民館2階(安楽島町844-4)

○参加費：ひとり200円

○対 象：小学生くらいまでのお子さんと保護者(小学生以上は託児可)



クラシェアとばでは、地域共助コミュニティアプリ「マイコミュ」を活用して、住民同士が、ゆるやかにつながり、地域情報やモノ、くらし、子どもの送迎・託児をシェア(共助)できる地域づくりを進めています。



お迎えに間に合わない時、
一緒に連れて帰って



毎週の習い事の送迎をお願い、
子どものやりたいことと仕事を両立



「イベントと一緒に連れてくよ！」と、
子どももだけお預かり

